

**社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会
(令和3年度第2回)議事概要**

1. 日 時 令和4年3月8日(火) 16:00~18:00

2. 場 所 WEB会議

3. 出席者

[委員長]

屋井 鉄雄 (東京工業大学副学長)

[委員]

秋葉 正一 (日本大学生産工学部土木工学科教授)

大下 茂 (帝京大学経済学部観光経営学科教授)

鬼沢 良子 (NPO法人「持続可能な社会をつくる元気ネット」理事長)

佐々木 淳 (東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)

谷口 綾子 (筑波大学システム情報系教授)

藤山 知加子 (横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授)

二村 真理子 (東京女子大学現代教養学部国際社会学科教授)

水野 創 (千葉県経済同友会副代表幹事)

[関東地方整備局]

道路部長 高松 諭

大宮国道事務所長 阿部 俊彦

高崎河川国道事務所長 福井 貴規

長野国道事務所長 永江 浩一郎

道路計画第一課長 大胡 賢一

4. 議 事

(1) 挨拶

・ 関東地方整備局 道路部長

(2) 審議

令和4年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

・ 新規事業候補箇所の選定の考え方

・ 新規事業候補箇所説明資料

一般国道17号 本庄道路(Ⅱ期)

一般国道17号 中村交差点立体

一般国道19号 塩尻拡幅

<委員からの主な意見等>

■令和4年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

○一般国道17号 本庄道路（Ⅱ期）

- ・新規事業化については妥当である。
- ・当該地域の国道17号は大型車交通量が多く、渋滞している状況。周辺地域に観光地等も点在していることから、バイパス整備による大型車交通の転換により、観光面での整備効果も期待される。
- ・交通渋滞による所要時間ばらつきも課題であり、このバイパス整備が「移動時間の信頼性の向上」に寄与するものと考えられる。

○一般国道17号 中村交差点立体

- ・新規事業化については妥当である。
- ・周遊観光拠点へのアクセス道路の渋滞解消につながる事業であり、その整備効果は広域に及ぶものと考えられる。
- ・渋滞緩和はCO2の削減や脱炭素にも寄与するので、今後のストック効果として検討すべきである。
- ・便益計算結果以上に、実態の整備効果は高いものと考えられる。事業を進めるにあたっては、このような整備効果も含めて地域に説明することが重要である。

○一般国道19号 塩尻拡幅

- ・新規事業化については妥当である。
- ・地方創生の観点から、拡幅事業により歩道の狭隘区間を解消するなど、安心安全な地域作りを進めていくことは重要である。
- ・通学路に指定されているのに歩道が狭いため、その対応は急務だと感じる。早期に改善していくことが必要である。
- ・この拡幅事業にあわせて、地域と連携しながら無電柱化や自転車道整備を進めることに期待する。

以 上